

令和5年度第71回関東高等学校柔道大会要項

- 1 主催 関東高等学校体育連盟 関東柔道連合会 東京都柔道連盟 茨城県教育委員会
- 2 主管 関東高等学校体育連盟柔道部 茨城県高等学校体育連盟 茨城県柔道連盟
- 3 後援 (公財)茨城県スポーツ協会 水戸市 水戸市教育委員会 水戸市スポーツ協会
- 4 名称 第71回関東高等学校柔道大会
- 5 期間 令和5年 6月2日(金)～6月4日(日)
- 6月2日(金) 15:30 開会式
- 6月3日(土) 9:30 男子・女子個人試合(2回戦まで)
男子・女子団体試合(2回戦まで)
- 6月4日(日) 9:30 男子・女子個人試合(3回戦から決勝戦)
男子・女子団体試合(3回戦から決勝戦)
表彰・閉会式
- 6 会場 堀原運動公園内 東日本技術研究所武道館(茨城県武道館)
〒310-0045 茨城県水戸市新原2丁目11-1
TEL 029-251-8444 FAX 029-252-2554
[交通]
- ①JR水戸駅下車 茨城交通バス 約25分 「茨大前営業所」下車
②JR赤塚駅下車 茨城交通バス 約20分 「茨大前営業所」下車
③常磐自動車道/水戸ICより約20分
④常磐自動車道下り/水戸北スマートIC(ETC専用)より約20分

7 引率・監督

- (1) 出場チームの選手は、必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。
- (2) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長が認める学校の職員とする。また校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都県高等学校体育連盟会長に事前に届け出ること。
- (3) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。但し、各都県における規程が定められ、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規程にしたがうことを原則とする。

8 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒は除く。
- (2) 選手は、各都県高等学校体育連盟加盟校の生徒で、当該競技専門部に登録し、当該競技要項により参加資格を得たものに限る。但し、各都県高体連に専門部が設置されていない種目については、加盟校の生徒であることとする。
- (3) 令和5年(2023)度、各都県柔道連盟(協会)の承認を経て、(公財)全日本柔道連盟に登録した者であるとする。
- (4) 年齢は、平成16年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技で3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (5) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (6) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。

ア 部員不足に伴う合同チーム

(全国高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と同専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」に基づき、都県高等学校体育連盟会長により予選会から参加が認められた場合)

イ 統廃合対象校による合同チーム(統廃合完了前の2年間に限る)

- (7) 転校(転籍)後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準じる)但し、一家転住等やむを得ない場合は、各都県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。

(8) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。

(9) 関東高等学校体育大会参加資格の特例

ア 上記(1)及び(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、都県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

イ 上記(4)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

[大会参加資格の別途に定める規程]

1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

2 以下の条件を具備すること。

(1) 大会参加を認める条件

ア 関東高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。

イ 参加を希望する専修学校及び各種学校にあつては、学齢・修学年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。

ウ 各学校にあつては、都県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、関東大会への出場条件が満たされていること。

エ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとで適切に行われており、活動時間帯が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際して守るべき条件

ア 関東高等学校体育大会開催基準要項を厳守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ 大会参加に際しては、万が一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

(10) 関東高等学校体育大会参加制限

[外国人留学生の出場枠について]

ア 学校教育法第1条に規定する高等学校卒業を目的として入学している生徒であること。

イ 在籍校が、都県高等学校体育連盟に加盟していること。

ウ 年齢は平成16(2004)年4月2日以降に生まれた者とする。

エ 短期留学は除く。

オ 人数については、団体試合は男女とも1名以内とする。個人試合については人数制限を設けない。

9 参加制限

(1) 団体試合

【男子】

ア 東京は9校、神奈川・埼玉・千葉は8校、栃木・茨城・群馬は7校、山梨は6校とする。

イ 開催地(茨城)には2校を加える。

ウ チーム編成は、監督1名・選手5名(先鋒から軽量級3名・無差別2名)・補欠2名(軽量級1名・無差別1名)の計8名とし、5名に満たない場合でも出場できる。その際、軽量級・無差別それぞれの体重区分の後ろ詰めとする。

エ 体重区分は、軽量級73kg以下とする。但し、補欠の出場は登録した階級に限る。

オ 外国人留学生のチーム人員は、1名以内とする。

【女子】

ア 東京は7校、埼玉・千葉は6校・神奈川は5校、栃木・茨城・群馬・山梨は3校とする。

イ 開催地(茨城)には1校を加える。

ウ チーム編成は、監督1名・選手3名（先鋒から軽量級2名・無差別1名）・補欠2名（軽量級1名・無差別1名）の計6名とし、3名に満たない場合でも出場できる。その際、軽量級・無差別それぞれの体重区分の後ろ詰めとする。

エ 体重区分は、軽量級57kg以下とする。但し、補欠の出場は登録した階級に限る。

オ 外国人留学生のチーム人員は1名以内とする。

(2) 個人試合

【男子】

ア 代表監督1名（代表は原則として各校の引率者から選出）、選手2名の計3名とする。

イ 体重の制限は設けない。

ウ 外国人留学生の参加人数の制限は設けない。

【女子】

ア 代表監督1名（代表は原則として各校の引率者から選出）、選手14名の計15名とする。

イ 選手は7階級（48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・70kg級・78kg級・78kg超級）とし各階級に2名ずつ出場できる。

ウ 出場は1階級に限る。

エ 女子団体試合は軽量級（57kg以下）に出場し、個人試合を57kg級より重い階級には出場できない。

オ 外国人留学生の参加人数の制限は設けない。

10 試合規定

(1) 審判は国際柔道連盟試合審判規定（最新版）ならびに（公財）全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。

(2) 試合時間

ア 団体・個人試合のすべて3分とする。

イ 延長戦（ゴールデンスコア）は、時間制限を設けない。

(3) 優勢勝ちの判定基準

ア 団体試合においては、「技有」または「僅差」以上とする（「僅差」は指導差2とする）。チームの内容が同等の場合は代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦の判定基準は個人試合に準ずる。

イ 個人試合においては、「技有」または「僅差」以上とする（「僅差」は指導差2とする）。技による評価が同等の場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦は「技有」以上の得点があった時点、または、「指導」の差が出た時点で試合終了とする。

11 競技方法

(1) 団体試合はトーナメント戦で行い、勝敗の決定は次による。

ア 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

イ アで同等の場合は、「一本」勝ちの多いチームを勝ちとする。ただし、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。

ウ イで同等の場合は、「技有」による勝ちが多いチームを勝ちとする。

エ ウで同等の場合は、代表戦を行う。

※代表戦はその対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。

※代表戦における優勢勝ちの判定基準は「技有」または「僅差」以上とする。ただし、本戦において勝敗が決しない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）を時間無制限で行う。延長戦の判定基準・実施方法は個人試合に準ずる。

(2) 個人試合はトーナメント戦で行う。

※団体試合の代表戦もしくは個人試合において、反則累積による「両者反則」負けになった場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦において勝敗を決する。さらに、延長戦内で反則累積による「両者反則」負けになった場合は、スコアをリセットし再度ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。このことは、1回戦から決勝戦までのすべての試合に適用する。

12 表彰

(1) 団体試合

ア 優勝・準優勝・3位（2校）に賞状ならびに記念品を贈る。

イ 優勝校には優勝旗を贈る。（次回の大会開会式に返還）

ウ 成績優秀校の第5位（ベスト8進出校）4校に賞状を贈る。

エ 10回・20回・30回・40回・50回・60回出場校に賞状を贈る。

(2) 個人試合 優勝・準優勝・3位（2名）に賞状ならびに記念品を贈る。

13 組み合わせ会議

(1) 令和5年5月20日（土）13：00より講道館第1会議室で行う。

(2) 各都県代表委員が内規に基づき、抽選を行う。

14 参加料

団体試合 1校 30,000円 個人試合 1名 3,000円

振込先 銀行口座 筑波銀行 筑西支店（005）

普通 口座番号 1296354（口座名）第71回関東高等学校柔道大会

会計 卯木 紀夫

（指定の振込口座へ5月17日（水）までに振り込むこと）

15 申込方法

(1) 申込み方法

ア 各出場校は申込書を3部作成し、1部を出場校控えとする。

イ 各都県代表委員は、各出場校からの申込書2部をとりまとめ、1部を各都県高体連で保管し、1部を大会事務局へ簡易書留郵便で送付する。（必ず各都県で一括してまとめ、申し込むこと。学校単位での申込みは受け付けない。）

ウ 各都県代表委員は、大会役員・審判員及び予選順位をつけた申込書を2部作成する。1部を大会事務局に送付（郵送およびメール送信）し、1部を控えとする。〔※メール送信は5月17日（水）12：00まで〕

エ 大会参加料は、各都県で一括してまとめ、大会事務局の銀行口座に振り込む。

(2) 申込み手順および注意事項

ア インターネット上の大会ホームページ（<http://www.kantohs-judo.jp>）から申込み手順を確認する。必要事項を入力し、申込書を作成する。

イ ユーザー名とパスワードは別途出場校に連絡する。

ウ 申込書作成にメールアドレスを用意しておくこと。

エ 必要事項を入力する際には、入力モード（全角、半角英数等）に従うこと。

オ 申込期限後、インターネット上の申込みページを閉鎖する。

(3) 申込み締め切り

5月19日（金）までに必着のこと。〔ネットによる申込手続きは5月17日（水）12：00まで〕

(4) 個人情報の取扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。（詳しくは、「関東高等学校体育大会参加における個人情報および肖像権に関する取扱いについて」を参照のこと。）

16 宿泊

(1) 宿泊の申込は、別紙「宿泊要項」による。

(2) 宿泊料金1泊3食13,900円（税込み）を上限とする。昼食代は900円（税込み）を上限とする。

(3) 選手・監督・役員の宿泊については、必ず大会事務局の指定した斡旋業者を通して申し込むこと。

17 参加上の留意点

(1) 無観客試合とする。参加は大会申し込みエントリーされた選手（男子団体は7名、女子団体は5名、各都県の男子個人は2名、女子個人は14名）に限る。

(2) 各都県の登録選手のエントリーに欠員が生じた場合は、開催都県で補充できる。

(3) 大会受付時に指定された健康記録表を受付に提出すること。選手には試合時以外はマスクの着用を推奨する。会場ではこまめな手洗いや手指の消毒に努めること。また、当日の検温に従うこと。

（感染予防対策については状況により変更があり、関東高体連の指示によるものとする。）

(4) 参加申込者に変更が生じた場合は、「選手変更届」を5月30日（火）までは実行委員会事務局へ、

それ以降については、6月2日（金）の受付時に提出する。なお、団体試合において、正選手が事故で欠場の場合は、その箇所に各階級にエントリーされた補欠選手を補充し、その後、空位になった補欠の箇所に新たな選手を補充するものとする。（補欠の補充は各階級1名までとする。）

- (5) 計量は男女団体試合軽量級、女子個人戦に出場する全選手が行う。女子団体試合は、軽量級に出場し、個人戦を57kg級より重い階級には出場することはできない。
- (6) 競技中の選手の疾病・傷病に対する応急処置は主催者で行うが、その後の責任は負わない。なお、選手は「健康保険証」を持参すること。
- (7) 監督は審判員を兼ねることはできない。
- (8) 選手はゼッケンを縫い付けた柔道衣を着用すること。詳細は別に定める。また、紅白帯は必ず各学校で用意すること。
- (9) 選手は全日本柔道連盟公認試合用の柔道衣、帯を着用すること。（2017年4月IJF新規定）
- (10) 選手全員が傷害保険に加入する。（費用は参加者負担、詳細は、別紙「傷害保険加入のご案内」による。）
- (11) 出場校の監督・引率で車にて来場する場合は、あらかじめ指定された堀原運動公園内駐車場および近隣駐車場に駐車すること。その際、「駐車証」を必要とする。また、係員が誘導・案内をするが、駐車場内での人身・物損事故等については、主催者は一切責任を負わないものとする。なお、役員用駐車場は茨城県武道館周辺に設置し、各都県委員長へは事前に「駐車証」を送付する。

18 その他・主な日程

- | | | |
|-------------|-------------|---|
| (1) 6月2日（金） | 8：00～ | 武道館開館 |
| | 9：30～14：00 | 練習・アップ（大道場・柔道錬成道場・剣道錬成道場は女子のみ）利用の割り振り表を作成し、事前連絡します。 |
| | 練習に参加する学校 | 予備計量 練習時間内前半45分 計量 |
| | 練習に参加しない学校 | 練習時間内後半15分男子（弓道場）女子（剣道錬成道場） |
| | | 計量 13：40～14：00 |
| | | 男子（弓道場）女子（剣道錬成道場） |
| | 12：00～13：00 | 委員長会議（会議室） |
| | 13：00～14：00 | 審判会議（会議室） |
| | 14：20～15：00 | 監督会議（会議室）各都県男女代表監督2名のみ |
| | 15：30～16：30 | 開会式（大道場） |
| (2) 6月3日（土） | 8：00～ | 選手・監督入場 |
| | 8：10～9：15 | 練習・アップ（大道場・柔道錬成道場・剣道錬成道場） |
| | | 利用の割り振り表を作成し、事前連絡します。 |
| | 9：30～11：30 | 男女個人試合2回戦まで（大道場） |
| | 11：45～16：45 | 男女団体試合2回戦まで（大道場） |
| (3) 6月4日（日） | 8：00～ | 選手・監督入場 |
| | 8：10～9：15 | 練習・アップ（大道場・柔道錬成道場・剣道錬成道場） |
| | | 利用の割り振り表を作成し、事前連絡します。 |
| | 9：30～10：30 | 男女個人試合3回戦～決勝まで（大道場） |
| | 10：45～14：00 | 男女団体試合3回戦～決勝まで（大道場） |
| | 14：15～14：45 | 表彰・閉会式（大道場） |

【大会事務局及び連絡先】

〒304-0067 茨城県下妻市下妻乙226-1 茨城県立下妻第一高等学校内
 第71回 関東高等学校柔道大会事務局 村上 洋紀 宛て
 TEL：0296-44-5158 FAX：0296-43-9172
 Email: ibaraki2023kantojudo@gmail.com
 関東大会ホームページ <http://www.kantohs-judo.jp>